

「ウィーン金貨ハーモニー」「プラチナウィーンコイン ハーモニー」

2017年世界販売量と日本販売量を発表

金貨:世界販売量は約41.3万オンス、日本販売量は約3.7万オンス

プラチナコイン:世界販売量は約15,000オンス、日本販売量は約9,500オンスで世界販売量の6割以上を占める

オーストリア造幣局(局長:ゲルハルト・シュタールジツヒ、本部:オーストリア・ウィーン)は、2017年1月から12月の世界市場と日本市場における資産用地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」*1および「プラチナウィーンコイン ハーモニー」の販売量をまとめました。

*1…日本国内は1、1/2、1/4、1/10、20オンス、世界市場は左に加えて1/25オンスも集計対象
(日本国内では一部販売店を除き1/25オンスの資産用地金型金貨としての販売はありません。)

<ウィーン金貨ハーモニー>

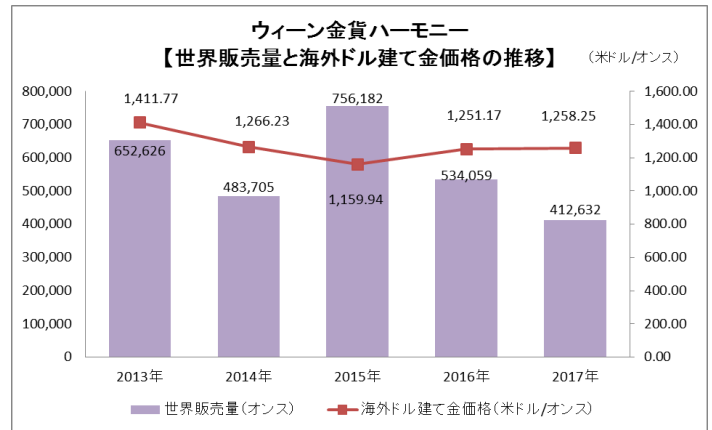
【世界市場】

約412,632オンス(前年比 約22.7%減少)

2017年1月~12月の世界販売量は約412,632オンスとなり、前年同期(2016年1月~12月)の534,059オンスと比較して、約22.7%の減少となりました。

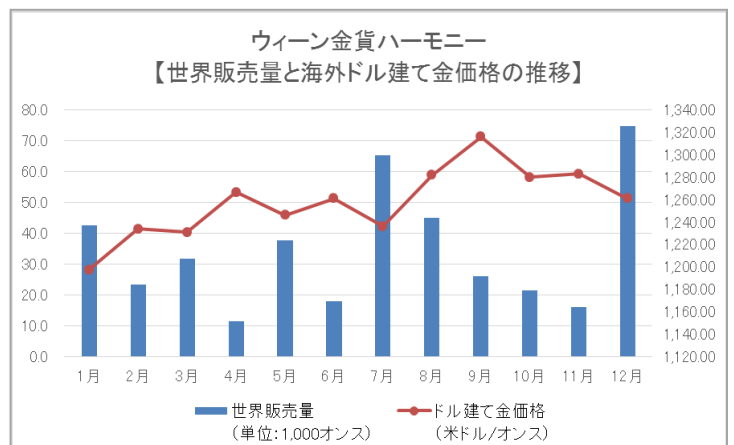
2017年のドル建て年平均金価格は、昨年度と比べ7.08ドルの上昇で、過去5年の中でも極めて小幅な動きだったことから、世界販売量が減少したと考えられます。

ドル建て金価格の2017年別推移は、中東情勢や米新政権の政策実行力に対する不安感などからドル安が進行し、なだらかな上昇相場を形成しました。9月には、年内最高値の1,350ドル/オンスを記録。その後、FRBの資産圧縮開始の発表を受け下落に転じ、12月に米利上げが発表されるとドル建て金価格は再び下落しました。世界販売量は12月に2017年の月間最高量を記録しており、12月のドル建て金価格の下落が、世界販売量の増加に影響を与えたと推測されます。(参照:参考1 表とグラフ)



■参考1:「ウィーン金貨ハーモニー」2017年1月~12月の世界販売量と海外ドル建て金価格(月平均価格)

2017年	世界販売量 (単位:1,000オンス)	ドル建て金価格 (米ドル/オンス)
1月	42.6	1,197.40
2月	23.3	1,233.88
3月	31.7	1,231.00
4月	11.3	1,266.39
5月	37.7	1,246.09
6月	17.8	1,260.77
7月	65.3	1,235.85
8月	45.1	1,281.77
9月	26.0	1,316.15
10月	21.3	1,280.08
11月	16.1	1,282.94
12月	74.6	1,260.87
計	412.6	



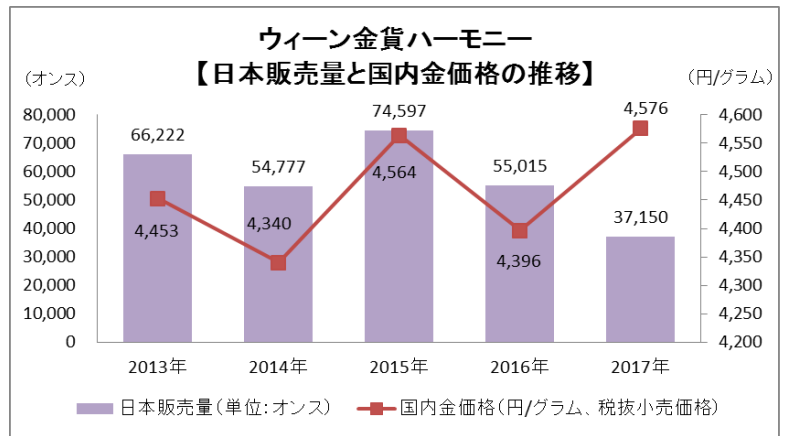
※販売量、販売枚数の概数は10の位で四捨五入しているため、合計数や加算/減算の値に誤差が生じます。

【日本市場】

約 37,150 オンス(前年比 約 32.5%減少)

2017年1月～12月の日本販売量は、日本総代理店である田中貴金属工業株式会社(以下、田中貴金属工業)によると※2 約 **37,150 オンス**で、前年同期(2016年1月～12月)の 55,015 オンスと比較して、約 32.5%の減少となりました。

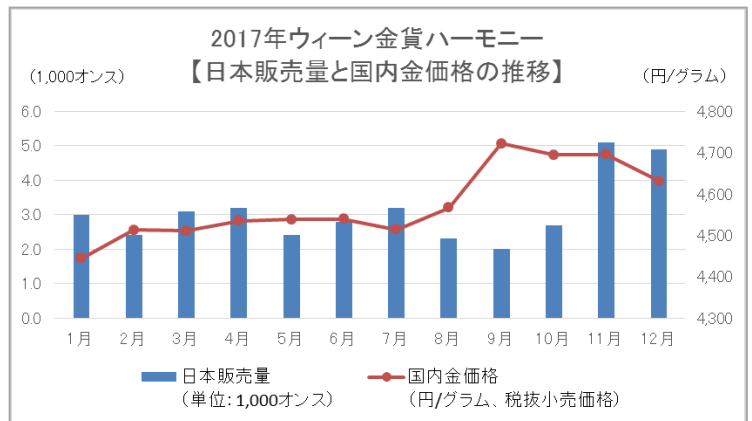
2017年の国内金価格は、ドル建て金価格と同様に、8月までなだらかな上昇相場を形成し、9月4日に年内最高値 4,751 円/g をつけました。金価格が上昇したことで販売量は伸び悩みました。10月から金価格が下がり始めると販売量は増加し、11月と12月の2カ月間で、年間の販売量の約3割を占める結果となりました。(参照:参考2 表とグラフ)



※2…田中貴金属工業の販売量には、買い取ったウィーン金貨ハーモニーの再販分も含まれます。

■参考2:「ウィーン金貨ハーモニー」2017年1月～12月の日本販売量と国内金小売価格(月平均価格)

2017年	日本販売量 (単位:1,000オンス)	国内金価格 (円/グラム、税抜小売価格)
1月	3.0	4,444
2月	2.4	4,513
3月	3.1	4,511
4月	3.2	4,535
5月	2.4	4,538
6月	2.8	4,540
7月	3.2	4,514
8月	2.3	4,567
9月	2.0	4,722
10月	2.7	4,695
11月	5.1	4,696
12月	4.9	4,631
計	37.2	



※図表中の国内金小売価格は日本総代理店である田中貴金属工業発表の価格を使用しています。

<プラチナウィーンコイン ハーモニー >

【世界市場】 15,518 オンス

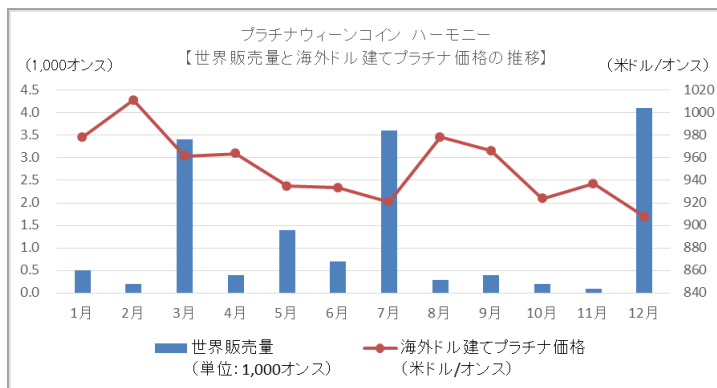
「プラチナウィーンコイン ハーモニー」は、2016年2月に1オンスを世界市場に向けて販売開始し、2017年6月に1/25オンスを販売開始しました^{※3}。2017年1月～12月の世界全体での販売量は、**15,518 オンス**でした。

2017年のドル建てプラチナ価格は、米国株式市場の上昇に追随する形で2月に1,000ドル/ozを超える水準まで上昇したものの、3月には一転、米国利上げを嫌気し投機家のポジションを圧縮する動きが強まり急落。その後も下落基調で推移し、12月13日には月間最安値の877ドル/オンスまで続落しました。それに伴い、12月の販売量は2017年の最高量を記録しています。(参照:参考3 表とグラフ)

※3…日本国内では1/25オンスの資産用地金型プラチナコインとしての販売はありません

■参考3:「プラチナウィーンコイン ハーモニー」2017年1月～12月の世界販売量と海外ドル建てプラチナ価格(月平均価格)

2017年	世界販売量 (単位:1,000オンス)	海外ドル建てプラチナ価格 (米ドル/オンス)
1月	0.5	978.29
2月	0.2	1,011.05
3月	3.4	961.36
4月	0.4	963.79
5月	1.4	934.89
6月	0.7	933.41
7月	3.6	920.74
8月	0.3	978.18
9月	0.4	966.26
10月	0.2	923.62
11月	0.1	936.8
12月	4.1	907.61
合計	15.5	



【日本市場】 9,471 オンス

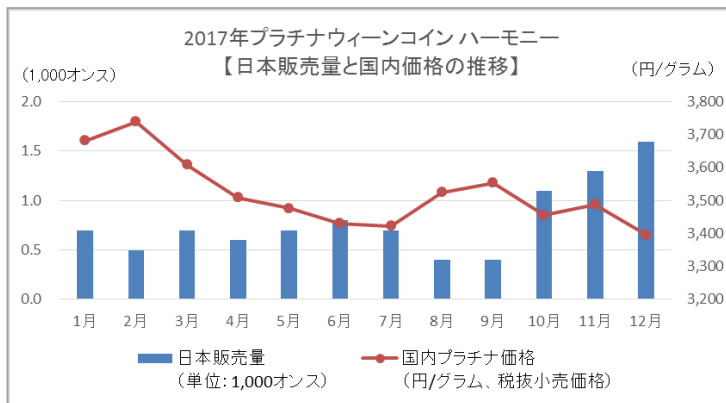
田中貴金属工業によると、2016年4月から日本市場での販売を開始した「プラチナウィーンコイン ハーモニー」(地金型プラチナコインとしては1オンスのみの販売)の2017年1月～12月の日本販売量は、**9,471 オンス**でした。

プラチナの国内価格は、総じて軟調だったものの、12月に3,400円台を割りこむと下落が加速し、12月15日には、年内最安値の3,287円/gと、約1年2カ月ぶりの安値となりました。それに伴い、月間販売量も12月が最多となりました。また、国内の年間販売量が世界販売量の6割以上を占めていることから、日本特有のプラチナを資産運用に取り入れる意識の高さがうかがえます。日本の販売動向が、世界のプラチナウィーンコイン ハーモニーの販売を牽引しています。(参照:参考4 表とグラフ)

※4…田中貴金属工業の販売量には、買い取ったプラチナウィーンコイン ハーモニーの再販分も含まれます。

■参考4:「プラチナウィーンコイン ハーモニー」2017年1月～12月の日本販売量と国内プラチナ小売価格(月平均価格)

2017年	日本販売量 (単位:1,000オンス)	国内プラチナ小売価格 (円/グラム、税抜小売価格)
1月	0.7	3,682
2月	0.5	3,740
3月	0.7	3,608
4月	0.6	3,509
5月	0.7	3,476
6月	0.8	3,431
7月	0.7	3,423
8月	0.4	3,525
9月	0.4	3,554
10月	1.1	3,455
11月	1.3	3,488
12月	1.6	3,395
合計	9.5	



※図表中の国内プラチナ小売価格は日本総代理店である田中貴金属工業発表の価格を使用しています。

＜ウィーン金貨ハーモニーとは＞

地金型金貨であるオーストリア造幣局発行の「ウィーン金貨ハーモニー」は、1 オンス、1/2 オンス、1/4 オンス、1/10 オンスの4種類のサイズがあり、2009年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売20周年には、「ウィーン金貨ハーモニー20オンス」を発売しました。「ウィーン金貨ハーモニー」は予算に応じた資産作りができるほか、友人や家族へのプレゼントにも適しています。また、ペンダントやブローチなど、コインジュエリーとしても様々な商品を展開しています。「ウィーン金貨ハーモニー」の日本総代理店である田中貴金属工業株式会社(本社:千代田区丸の内、代表取締役社長執行役員:田苗 明)とオーストリア造幣局は、少額から保有することができる「ウィーン金貨ハーモニー」の提供を通じて、長期的な資産形成手段のひとつである地金型コインを広く一般に訴求しています。

ウィーン金貨ハーモニーの種類と国内参考価格

	20 オンス	1 オンス	1/2 オンス	1/4 オンス	1/10 オンス
品位	99.99% (純金製)				
額面金額	2000 Euro	100 Euro	50 Euro	25 Euro	10 Euro
重量	622.07 g	31.1035g	15.5517g	7.7758g	3.1103g
直径	74.0 mm	37.0 mm	28.0 mm	22.0 mm	16.0 mm
厚さ	8.3 mm	2.0mm	1.6mm	1.2mm	1.2mm
デザイン(表)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である楽友協会・黄金の間のパイプオルガン				
デザイン(裏)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を象徴する美しい「楽器」のデザイン				
参考価格 小売	3,394,040 円	169,702 円	86,467 円	44,733 円	18,317 円

* 参考価格は、2018年2月13日(火)9時30分発表の金価格(税込小売価格 1g=5,040円)の場合の1枚あたりの税込価格です。価格は毎日変動します。



表面



裏面

＜プラチナウィーンコイン ハーモニーとは＞

オーストリア政府が価値を保証する法定通貨である、プラチナ純度 99.95%の地金型プラチナコイン「プラチナウィーンコイン ハーモニー」は、2016 年 2 月にドイツで開催された「ワールドマネーフェア 2016」で発表され、日本では 2016 年 4 月から日本総代理店である田中貴金属工業(本社:千代田区丸の内、代表取締役社長執行役員:田苗 明)が販売を開始しました。オーストリアでは 2017 年 6 月から 1/25 オンスも販売しています(日本国内では 1/25 オンスの地金型プラチナコインとしての販売はありません)。

プラチナウィーンコイン ハーモニーの種類と国内参考価格

	1 オンス
品位	99.95%(純プラチナ製)
額面金額	100 Euro
重量	31.1035 g
直径	37.0 mm
厚さ	1.9 mm
デザイン(表)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である楽友協会・ 黄金の間のパイプオルガン
デザイン(裏)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を象徴する美しい「楽器」のデザイン
参考価格 小売	128,002 円

※参考価格は、2018 年 2 月 13 日(火)9 時 30 分発表のプラチナ価格(税込小売価格 1g=3,765 円)の場合の 1 枚あたりの税込価格です。価格は毎日変動します。



表面



裏面

＜田中貴金属工業とは＞

田中貴金属工業株式会社は、1885 年の創業以来、1 世紀以上にわたり、金や銀を始めプラチナ族金属などの貴金属の回収・精製並びにその分析に携わるとともに、それらを用いたさまざまな産業用素材や製品の製造・販売をはじめその特性を生かした資産としての貴金属地金商品の売買を行っています。日本で金の輸出入自由化が施行された 1978 年には、金の精製・分析技術が高く評価され、日本で初めてロンドン金市場(現ロンドン地金市場協会)の公認溶解業者の認定を受け、ロンドンはもとより世界の主要市場で通用する金地金を製造する資格を得ました。また、2003 年 12 月には、ロンドン市場で取引される金及び銀の品質を審査する、世界で 5 社しか認定されない「公認審査会社」の 1 社に任命されています。グループ会社の田中貴金属ジュエリーが運営する GINZA TANAKA の各店舗(7 店舗)をはじめ、全国に広がる 97 店舗の特約店で金地金や地金型金貨等の売買を行っています。また、さらにグローバル化を推進するため、2016 年に Metalor Technologies International SA をグループ企業として迎え入れました。

＜オーストリア造幣局とは＞

オーストリア造幣局は、1194 年の誕生以来、800 余年にわたり様々なコインの鑄造を行ってきました。その品質と鑄造技術は世界中から高い評価を得ています。1989 年、財務省傘下からオーストリア中央銀行の子会社となったオーストリア造幣局は、同年、ヨーロッパで初めての純金地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」を発行、日本市場への販売を開始しました。1994 年には開局 800 周年を迎え、2004 年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売 15 周年には、世界最大級の金貨である「ウィーン金貨ハーモニー 1000 オンス」を、2008 年には「ウィーン・フィル銀貨」を発行しました。また、2009 年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売 20 周年では、「ウィーン金貨ハーモニー 20 オンス」を発行し、2014 年には発売 25 周年記念として「ウィーン金貨ハーモニー 1/25 オンス」を、2016 年より「プラチナウィーンコイン ハーモニー」を発行しました。

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

■オーストリア造幣局 駐日事務所 北野

TEL: 03-5640-1578 <http://www.austrianmint-jp.com>

■共同 PR 株式会社 担当:大沢、田中、伊原、斉藤

TEL: 03-3571-5326 MAIL: thdpr@kyodo-pr.co.jp